

【協議事項 1 (1)】 前回委員会における各委員意見の振返りについて

1 委員会開催の経緯

	日時	出席委員数
第1回委員会	5月11日(月)	12人
第2回委員会	6月1日(月)	10人
第3回委員会	6月30日(火)	11人
第4回委員会	7月21日(火)	10人
第5回委員会	8月6日(木)	10人
第6回委員会	8月28日(金)	8人

2 意見の振返りについて

No.	主な発言内容	開催回
第1章1(1)について		
1	主な取組の表記について、「〇〇を行い、〇〇を凶った」、「〇〇をすることで、〇〇した」というような書き方がよいのでは。	②
2	「見直し」という言葉は、個人的には、使いたくない。主な取組についての表記は、簡単な箇条書きであり、もっと具体的な表現でわかりやすくしてほしい。	②
3	表1での文言が第2章では違っているようなので、第1次大綱からの課題と第2次での取組に対する繋がりがわからない。	②
4	取組状況に対して「○」や「×」といったものがあればわかりやすいのでは。	②
5	残された課題として整理しているが、それが基本的な取組のどこに盛り込まれているのかがわからない。	②
第1章1(2)について		
6	不安を煽るような表現が多いのでは。	②
7	5年先は、こうなりたいと言うような「夢」を入れ込んでもよいのでは。	②
8	限界集落への定義づけや整理をしっかりとする必要がある。	②
9	行政のスリム化と同時に地区コミュニティの統廃合についても、検討が必要ではないか。	②
10	委員会全体で審議できるものはよいが、そうでないものについては、分科会的なものを設けて、勉強会を開いていくことも必要かもしれない。	②
11	定員適正化方針との単なる帳尻あわせでの採用枠の縮減よりも、時には採用を増やすことも必要ではないか。	②
12	給料を減らすではなく、昇給のスピードを少し減らして、その分、職員数を確保する、ワークシェアリングという発想も必要ではないか。	②
13	採用の方法を考えるのはどうか。例えば、ゴールド集落への移住を条件に採用するとか、能力の高い臨時職員を、正職員として確保するなどを検討するのはどうか。	②
第1章1(3)について		
14	特になし	
第1章2について		
15	特になし	

No.	主な発言内容	開催回
第2章1(1)について		
16	まちづくり懇話会では、かなりの人数が集まると、発言するのも偏ってしまい、また、発言しにくい状況になるのではないか。 一般の市民でも、市と対等に話が出来るといった機会を作ることにも必要ではないか。	③
17	自治会や地区コミに入っていない市民を考えているのか。まちづくり懇話会を知らない人も多い。	③
18	年に1度、未加入者に対して、加入促進を訴える通知文書に、加入のメリットを謳った文言を加えることを検討してほしい。	③
19	未加入者から意見を吸い上げ、意見交換を行い、加入につなげていければいいのでは。 このため、未加入者から、いかに意見を吸い上げるかを検討する必要があるのでは。	③
20	加入しなくてもよいという風潮が出ないようにしなければならない。加入・未加入の自由はあるが、できるだけ、加入をお願いしていきたい。 また、加入していない方へのフォローアップも重要であると考える。	③
21	自治会活動での苦労話をよく聞くが、市民が本当に望むようなイベントが、一体どのようなものなのかを把握し、整理する必要があるのでは。	③
22	行政の役割を今後、地区コミに移行することがあるならば、地区コミの今後のことを考えないと、自治会加入率は増えないし、若者が増えるということにはならないのではないか。	③
23	「自治会加入率を上げるためには、どうすればよいか」、 「市民ニーズの吸い上げをどのように行うか」ということが、議題として残ると考える。	③
24	「地区コミュニティ」というものの宣伝が弱かったのではないか。	③
25	組織論については、他項目でも議論の余地があると思われるが、この項目では、「市民志向」ということに重きを置いての取組を想定しているため、「市民志向に基づく組織作り」というような表現がよいのではないか。	④
26	現状の内容あるいはあるべき姿を踏まえて、直すべきところを直さなければならないということを想定しているだろうから、「見直し」という言葉ではなく、「改定」や「是正」という文言に修正した方がよいのではないか。	④
27	想定される取組項目で、「職員の改革（挑戦）意識の触発」とあるが、どのようなことを意識しているのか。この文言だけでは、イメージしにくい。	④
28	「市の業務は、税金をベースに行われている」という意識改革の一環として、税務課のような税金を主に取り扱う課を全職員が一定期間経験する異動体系を構築することも有効ではないか。	④
29	「私は、この仕事しかできない。」というセクショナリズムにこだわった意識を改善することが重要である。	④

No.	主な発言内容	開催回
30	同様の業務を持つ課同士が横の連携を充実させ、効率的な予算執行を心がけることが重要ではないか。	④
31	意識改革の一環として研修の実施があるが、それ以前に、毎日の業務自体が研修の一つだという意識を職員には持ってもらいたい。	④
32	嘱託員・臨時職員についても、研修の場を設けることが必要ではないか。	④

第2章1(2)について

33	異動することが必要であることはわかるが、簡単に異動してはいけない所とそうではない所を、人事の面でもしっかり把握して、異動について考慮してもらいたい。	④
34	本市の職員数について、類似他市と比較して多いということは、理解しているが、甌島を持つ本市の特徴を加味した定員適正化計画の策定を市にはお願いするとともに、委員会においても審議したい。 単に「この部所は多いから減らす」と言ったものではなく、部所のポジションや業務を考慮した職員配置が行われるべきである。	④
35	「職員の適正数」や「適正化」というものを、何を基準に設定するかということが重要であると考えます。	④
36	職員の定員適正化を考えるならば、市の自主財源の面からも考えることが重要であるため、「(3)健全な財政経営基盤の確立」と連動させて検討する必要がある	④
37	市役所というのは、市民サービスの提供の場であるとともに、市の最大の雇用の場であり、また、職員は地域振興の担い手であるわけで、単にスリム化だけのことを考えた時に、市としてプラスになるのか、ということを考えてたい。	④
38	仕事は増えるものであるが、だからこそ、選択と集中、そして、スピーディに業務を遂行する組織力の構築と職員の能力アップが必要である。	④
39	市民ニーズへの対応は、「自助・公助・共助」に基づき、自分たちでできることは自分たちで、それでもできない部分については、市がサポートするという体制を構築するべきである。	④

第2章1(3)について

40	素案では、削減のことしか触れていないため、マイナスなイメージしか持てない。 税収アップ(プラスアイデア)について、どのように取り組んでいくかについても文言を盛り込むべきである。	④
41	素案原文に、「効果的な資産運用と計画的な財政運営」とあるが、財政運営の中に資産運用ということも含まれるのではないか。	④
42	「SMART作戦」を全職員へ更に徹底するようお願いする。待遇改善の面でもかなりの効果がある。	④
43	公共施設の建設は、単に建設するまでを目的とするのではなく、それ以降の維持管理までを考慮する必要がある、民間企業で当たり前に行われる建設後の利益や活用率等についての検証を行政も十分に行う必要がある。 「都市経営」は、そこにも通じるのではないか。	④

No.	主な発言内容	開催回
44	検証について、別に組織や機関を設置する必要があるのでは。	④
45	健全な財政経営基盤とは、「入るを量って出づるを制す」という言葉にも通ずるものだと考える。 削減のことばかりを検討するのではなく、市と市民や市民団体等が連携して何か前向きな事業を実施し、収入を確保するようなことも検討してはどうだろうか。	⑤
46	新幹線の全線開通を控え、気軽に施設に立ち寄っていただけるように、施設の上手な活用策、企画をしていきたい。 世間を見回しても、若者特に女性において、歴史に対する興味は高まっているようである。そういった方々が、国分寺跡地等を拠点に、気軽に散策できるようなルート等を整備することも必要ではないか。	⑤
47	地元の貴重な資料を保存する場所の整備という目的で建設した施設もあるから、そのような施設を含めて一律に年間の入場者数について、議論する必要があるかどうかということもご理解いただきたい。	⑤

第2章2（1）について

48	「市民志向」という言葉を用いること自体が、市民の目線にたっていない、上から目線で市民目線から遊離しているのではないかと感じる。 本当に市民と一緒に協働・共生していくことを考える必要があると思う。	⑤
49	「市民志向」という言葉にしても、読む市民からすれば、自分のこととして捉えられずにいるだろうという感覚がある。自分たちのことを考えてくれている計画だと思ってもらえるものを作ってもらいたい。	⑤
50	市は、「こういうことをしている」といった周知を若者へしていくことが重要であると感じる。 わかりやすくなじみやすい自治体であっていただきたい。	⑤
51	1段目も2段目も、文章が長いから、より読みやすくするために、読みやすくなるよう1文を短く修正していただきたい。	⑤

第2章2（2）について

52	庁舎2階の正面出入り口から入る場合には、目の前に総合受付があるため、庁内の案内には適していると思うが、1階の出入り口を利用する方が多いことを考えると、1階に受付を設置する方がよいのではないか。	⑤
53	「訪問者は全てお客様である」という意識を持っているかどうかには尽きるのではないか。	⑤
54	庁舎内の駐車場や1階のエレベーターホールが薄暗い。 また、1階のエレベーターホールは、雑然としている印象を持つ。役所の玄関なのに、印象が悪いのではないか。	⑤
55	「コストの縮減」とあるが、「縮減」という言葉に違和感がある。「縮減」は行政用語かもしれないが、「削減」の方がわかりやすいのでは。	⑤

No.	主な発言内容	開催回
56	同様の施設の料金格差の是正ということは理解するが、公共のサービスとして提供するということも念頭に置いて見直しを進めないと、単に受益者負担の視点だけで進めるのでは、民間サービスといっしょになってしまうので分けて考えるよう気をつけていただきたい。	⑤
57	パソコン機器の操作が、職員間でかなり差があると思われる。 ITを活用するのであれば、職員の操作技術の向上が重要であろう。	⑤
58	ITの導入や職員の操作技術の向上は大事であるが、一番重要なのは、個人情報の漏えい対策をきちっと講じることだと思う。	⑤

第2章2(3)について

59	イベント等について、周知はもちろんだが、参加依頼等で学生を巻き込めば、見物に来るお客も増えるのではないか。	⑤
60	若いうちから、「薩摩川内市はいいまちだ」と印象付けることでできれば定住にも繋がるだろうし、そのための広報活動が重要であるわけで、一方では広報紙の若者への普及が進んでいないということを感じます。	⑤
61	広報紙をスーパーに置く場合は、出入り口に設置する方が有効ではないか。	⑤
62	若い方々から意見を聞く機会、公聴委員会的なものを設置することが必要ではないか。 また、若者への情報発信ツールとして、メール機能の活用の研究が必要ではないか。	⑤
63	スーパー等への設置数というのは理解できたが、一体どのくらい持って行ってもらっているのか。 それを把握しないと、市が配布について努力しているのに、持って行ってもらっていないことに対して無駄に設置していることになるのではないか。	⑥
64	市のイベント情報などを携帯で提供できる環境を整備できればよいのではないか。	⑥
65	無線放送の内容は、まどろっこしい印象を受ける。 放送する内容や仕方を配慮し、放送の際の声色にも気を付けるべきだと思う。	⑥

第2章3(1)について

66	提案公募型補助金の趣旨について、しっかり説明する必要があるのではないか。 そうしないと、補助金がなくなったから、団体がなくなったと捉えられる恐れがある。	⑥
67	3年間補助をするけれども、補助がなくなっても自立的に行えるかというシミュレーションがないといけないと思う。	⑥
68	事業の収支計画を出すようになってきているが、初年度だけでなく、2年後、3年後、4年後(補助金終了年度)の収支をどのように計画しているかを提出させることが有効ではないか。	⑥

No.	主な発言内容	開催回
第2章3(2)について		
69	指定管理者を選定する段階において、どこに委託することが適当であるかをしっかりと検証することが必要である。	⑥
70	指定管理委託における労働環境の状況についても、外部委員会においてチェックすることも必要ではないかと思う。	⑥
第2章3(3)について		
71	地域力・都市力の創出のため、様々な取組を検討されているようであり、事業の優先順位を設定するなどして、適切に事業が推進されるよう期待したい。	⑥
72	本市においても定住支援センターを整備しているようであるが、もう少し外向け、特に市外の方々に対してPRすることはできないか。	⑥
73	県が永利町に分譲住宅を整備したが、分譲率は低いようである。それはなぜかという分析も、定住支援への検討材料になるのではないか。	⑥
74	限界集落においては、自己資金がないため、このような自主的な取組は難しいと思われる。ささやかな事業はともかく、前向きな事業実施への二の足を踏む状況である。	⑥
75	文化財の一覧について、カラーの冊子を作成することも有効ではないか。	⑥
76	甑島において、教職員住宅の空き部屋の有効活用ができないか。	⑥
77	甑島の医療体制については、住民の生活に直結する関心事であり、早急に検討していただきたい。	⑥
その他(全般的なこと等)		
78	支所との連携が必要。 支所を通じての問い合わせがある時に、支所でもぱっと対応できないと、市民目線には届かないのでは。	②
79	注釈は、巻末ではなく、言葉が出たところに表記した方がわかりやすい。	②
80	「お金がないから、行政改革をしましょう。」というのではなく、「魅力のあるまちづくりをしていく。」ための建設的な議論をしていきたいと願う。	④
81	文章が読みにくい。これは、行政機関の文書について、全般的に言える。 入り込みやすい、楽しそうだなと思える提案や未来像の提示をお願いしたい。	④
82	主語述語を明確にして、何が言いたいのかをはっきりさせることが重要である。	④
83	薩摩川内市を愛する気持ちがあれば、市民に痛みをお願いすることでも市民は喜んで協力すると思うが、それがなければ、すぐに市から転出してしまうことになる。	⑤
84	現在審議している素案には、「教育面」における文言がないのではないかと思った。 教育問題は、一朝一夕で成果が出るものではないが、教育における環境整備についても重要ではないかと思う。	⑥